

平成23年第2回定例会
健康福祉病院常任委員会

所管事項概要説明資料

	頁数
1. 病院事業庁組織図	1
2. 県立病院の概要	3
3. 平成23年度三重県病院事業会計予算について	5
4. 「平成23年度年度計画及び当面の運営方針(平成23年度)」について	12

【別冊】平成23年度年度計画及び当面の運営方針(平成23年度)

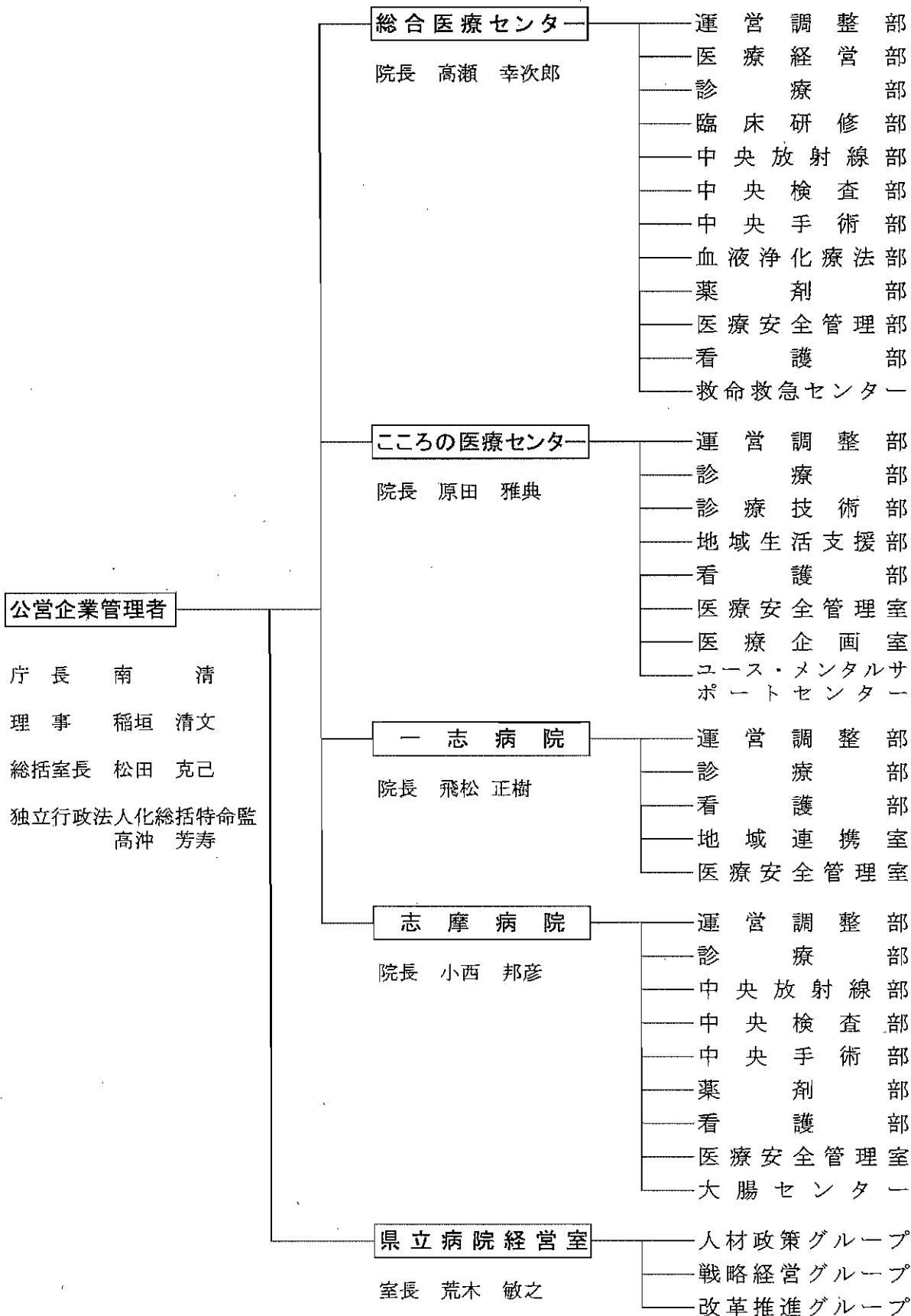
平成23年5月25日

病院事業庁

【所管事項説明】

1. 病院事業庁組織図

(平成23年4月1日現在)

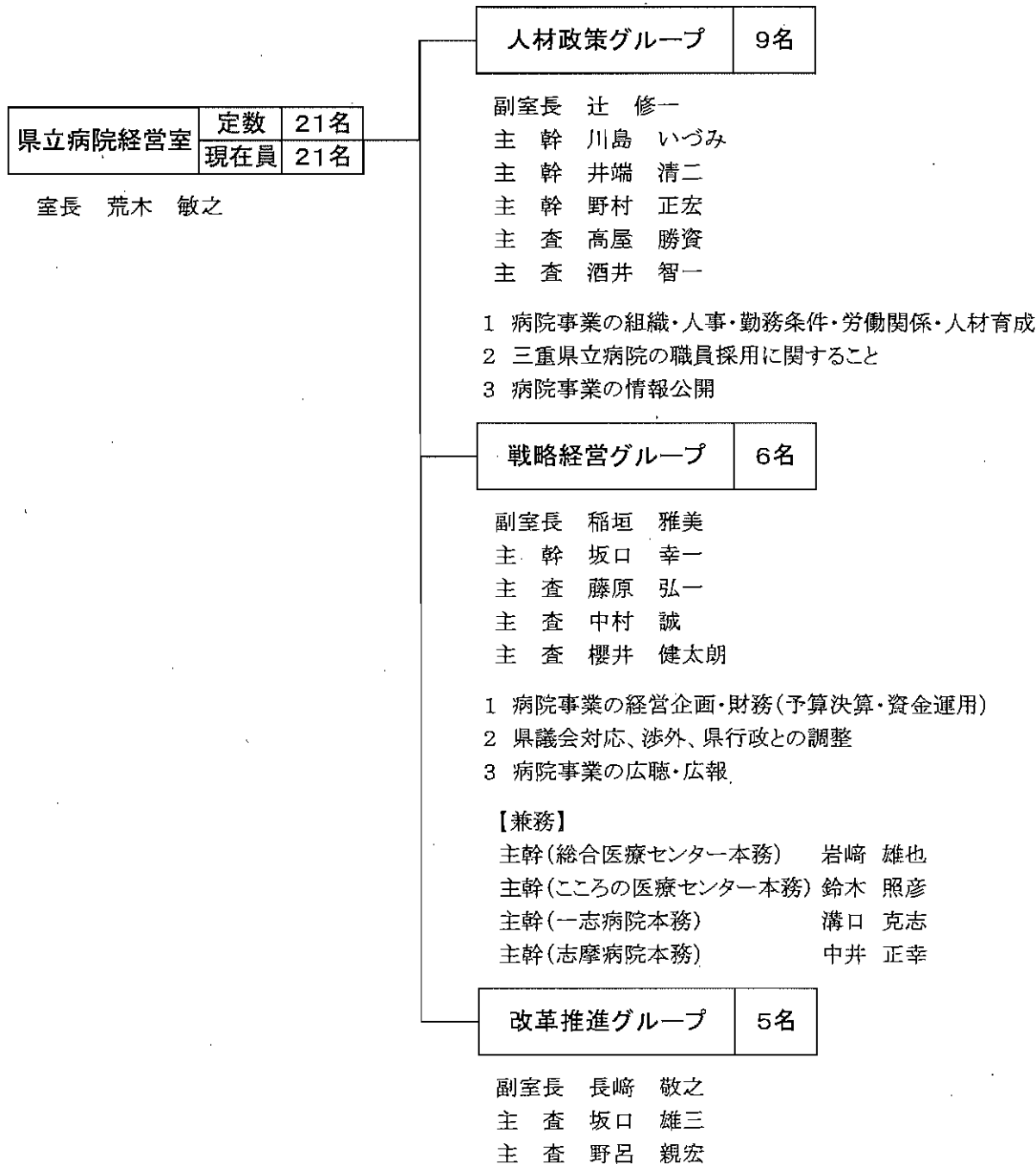


政策企画特命監、改革推進特命監
 医務特命監、看護特命監

【所管事項説明】

● 県立病院経営室及び特命監事務分掌表

(平成23年4月1日現在)



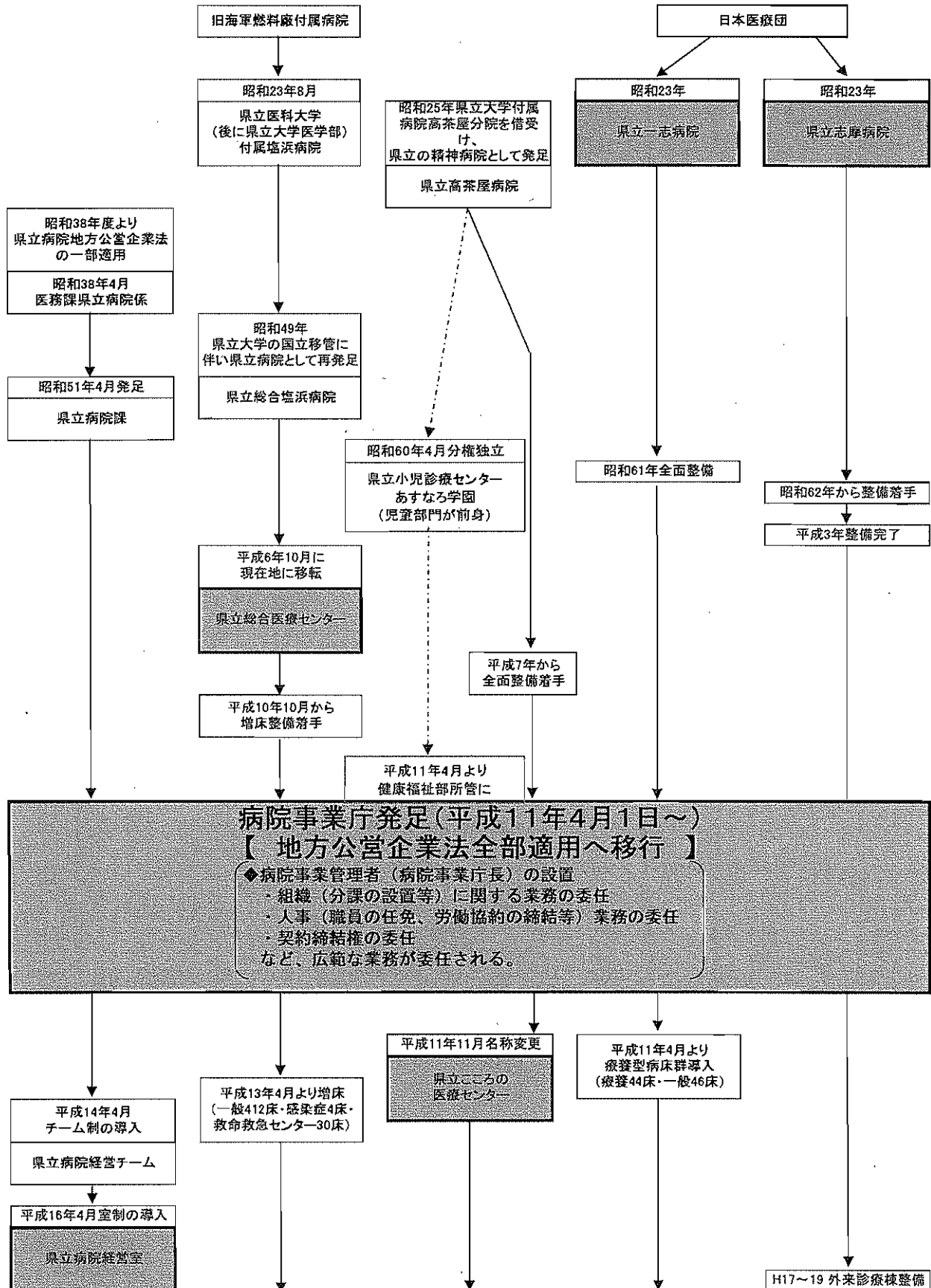
1 県立病院改革に伴う業務の推進

政策企画特命監	服部 幸司	行政施策との総合調整、病院事業庁の危機管理、訟務、人権啓発、企業出納員
改革推進特命監	岩崎 浩也	県立病院改革に伴う業務の推進・調整
医務特命監	岡田 昌彦	病院事業庁の労働安全衛生 (総合医療センター診療部診療部長 本務)
看護特命監	北村 美恵	看護師の確保・育成、看護に係る職場環境改善 (こころの医療センター看護部長 本務)

※ このほか、工事検査担当に県土整備部職員を併任。

【所管事項説明】

2. 県立病院の概要
 (1) 県立病院の沿革



【所管事項説明】

(2) 県立4病院の概要

本県では、平成11年4月から、病院事業庁長を事業管理者とする公営企業法の全部適用により、総合医療センター、こころの医療センター、一志病院及び志摩病院の4病院の運営を行っています。

県立病院では、「患者の人権を尊重する医療を追求する」、「県民と地域の信頼を得る医療を追求する」、「常に時代や環境を先取りし求められるサービスを実践する」を基本理念とし、救急医療や周産期医療の充実、がん診療機能の強化、へき地医療の支援、災害医療体制の整備など、地域のニーズに応じた良質で満足度の高い医療を提供するとともに、政策医療や不採算医療を担い、「県民から信頼され、支持される病院」を目指しています。各県立病院の概要は次のとおりですが、近年の全国的な医師・看護師不足等により、病院の機能が十分に発揮できない状況になっています。

病 院 名	総合医療センター	こころの医療センター	一志病院	志摩病院	合計	
施設の所在地	四日市市大字日永	津市城山	津市白山町南家城	志摩市阿児町鵜方		
診療科目 ()は現在休診の診療科 【H23.4.1】	内科 呼吸器科 消化器科 循環器科 外科 呼吸器外科 心臓血管外科 脳神経外科 小児科 産婦人科 整形外科 (リハビリテーション科) 皮膚科 泌尿器科 (眼 科) 耳鼻咽喉こう科 精神科 神経内科 放射線科 麻酔科	精神科 内科 歯 科	内科 外科 (小児科) (産婦人科) (整形外科) 眼 科 (耳鼻咽喉こう科) (放射線科)	内科 循環器科 外科 脳神経外科 小児科 産婦人科 整形外科 皮膚科 眼 科 耳鼻咽喉こう科 精神科 神経内科 放射線科		
許可病床数 【H23.4.1】	一般	442	—	46	250	738
	療養	—	—	44	—	44
	精神	—	400	—	100	500
	感染	4	—	—	—	4
	合計	446	400	90	350	1,286
1日平均患者数【22年度実績】	入院	294.9	333.9	34.9	200.5	864.1
	外来	565.7	247.2	93.2	306.0	1,212.1
職員数【H23.5.1】	552	211	47	237	1,047	
敷地面積 (㎡)	63,420	55,076	14,959	22,571	156,026	
建築面積 (㎡)	31,687	20,300	6,212	10,665	68,864	

総合医療センターの一般病床数(442床)には、救命救急センター(30床)を含みます。

【所管事項説明】

3. 平成23年度三重県病院事業会計予算について

1 予算編成にあたっての基本的な考え方

県立病院は、一部の病院において医師等の不足により、本来の機能が十分に発揮できず、厳しい経営環境にあります。このため、医師・看護師等の確保定着のための事業を継続するとともに、必要な医療機器の整備・更新等を行ない事業収支の改善に一層取り組み、地域医療体制の維持や医療の質の向上に努めます。

また、『県立病院改革に関する基本方針』に基づき、県立病院改革を推進するために必要な事業を実施します。

2 主な重点項目

(1) 県立病院の医師・看護師等確保定着事業 予算額 175,626千円

① 医師確保のための研修環境等改善事業 (予算額 38,934千円)

県立病院で働く医師を確保するため、研修環境の充実や住環境の改善等を行い、勤務医にとって働きがいのある職場環境づくりに取り組みます。

② 看護師等確保定着事業 (予算額 136,692千円)

県立病院で働く看護師の確保定着を図るため、助産師及び看護師修学資金制度の活用や新人看護師への技術支援等に取り組みます。

(2) 周産期医療機能拡充事業(総合医療センター) 予算額 118,582千円

北勢地域の周産期医療を充実させるために、三重県医療審議会周産期部会の意見書を踏まえ、総合医療センターにおいて周産期センター整備工事等を行います。

(3) 県立病院改革推進事業 予算額 340,452千円

『県立病院改革に関する基本方針』に基づき、総合医療センターの地方独立行政法人化、志摩病院への指定管理者制度導入のために必要な取組みを進めます。

【所管事項説明】

3 平成23年度の予算概要(病院別予算内訳)

(1) 収益的収支の状況

(単位:千円)

	総合医療センター	こころの医療センター	一志病院	志摩病院	県立病院経営室	合計
① 病院事業収益(A+B)	10,354,855	3,310,837	820,260	3,366,025	326,269	18,178,246
医業収益(A)	8,701,513	2,348,546	522,577	2,569,891	0	14,142,527
うち入院収益	6,155,205	1,990,527	306,122	1,739,866	0	10,191,720
うち外来収益	2,361,996	332,572	181,487	779,198	0	3,655,253
医業外収益(B)	1,653,342	962,291	297,683	796,134	326,269	4,035,719
うち一般会計繰入金	1,589,231	935,801	295,528	713,217	320,723	3,854,500
② 病院事業費用(C+D+E)	10,700,748	3,329,836	846,501	4,785,126	326,269	19,988,480
医業費用(C)	10,123,501	3,099,299	822,210	4,652,434	309,637	19,007,081
うち給与費	5,091,794	2,023,343	481,317	2,556,654	303,630	10,456,738
うち材料費	2,603,794	216,412	99,524	639,887	0	3,559,617
うち経費	1,542,757	512,515	177,560	1,083,938	121,055	3,437,825
うち減価償却費	607,416	305,954	49,452	314,694	2,898	1,280,414
医業外費用(D)	570,208	126,258	10,895	122,502	16,632	846,495
特別損失(E)	7,039	104,279	13,396	10,190	0	134,904
経常収支・(A+B)-(C+D)	▲ 338,854	85,280	▲ 12,845	▲ 1,408,911	0	▲ 1,675,330
総収支(①-②)	▲ 345,893	▲ 18,999	▲ 26,241	▲ 1,419,101	0	▲ 1,810,234

※県立病院経営室分については、決算時に収支差が「0」になるように各病院へ配分。

(2) 資本的収支の状況

(単位:千円)

	総合医療センター	こころの医療センター	一志病院	志摩病院	県立病院経営室	合計
③ 資本的収入(a+b+c)	1,174,984	257,279	81,523	284,656	370,000	2,168,442
企業債(a)	657,900	57,700	29,800	67,700	270,000	1,083,100
県費負担金(b)	517,084	199,579	51,723	216,956	0	985,342
固定資産売却代金(c)	0	0	0	0	100,000	100,000
④ 資本的支出(d+e+f)	1,492,719	367,030	109,666	432,132	312,600	2,714,147
建設改良費(d)	660,306	57,960	30,894	71,398	270,000	1,090,558
企業債償還金(e)	832,413	309,070	78,772	360,734	0	1,580,989
長期貸付金(f)	0	0	0	0	42,600	42,600
資本的収支差引(③-④)	▲ 317,735	▲ 109,751	▲ 28,143	▲ 147,476	57,400	▲ 545,705

※端数処理の関係により、各項目の合計等が一致しないことがある。

県立病院の医師・看護師等確保定着事業

【予算額 175,626千円】
県立病院経営室 224-2350

医師・看護師等の不足が全国的に深刻な問題となっており、特に救急医療やへき地医療等の地域医療を担う公立病院においては、病院運営に重大な影響を与えています。

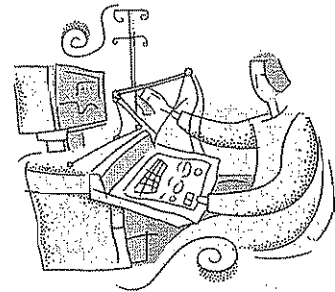
県立病院においても、一部の病院において医師等の不足により、本来の診療機能が十分に発揮できず、厳しい経営環境となっています。

このため、病院事業庁では、引き続き県立病院で働く医師・看護師等が求めるニーズに応え、満足度の高い職場環境を整備することにより、医師・看護師等の確保と定着を図り、事業収支の改善に一層取り組むとともに、地域医療体制の維持や医療の質の向上に努めます。

①医師確保のための研修環境等改善事業 【予算額 38,934千円】

県立病院で働く医師を確保するため、研修環境の充実や住環境の改善等を行い、勤務医にとって働きがいのある職場環境づくりに取り組みます。

- 医学書及び診療研修関連図書を整備し、研修環境の充実を図ります。
- 学会等研修参加旅費を支給し、技術向上につなげるとともにモチベーションの向上を図ります。
- 医師公舎借上げ等住環境を確保し、単身赴任等に対する支援を行います。

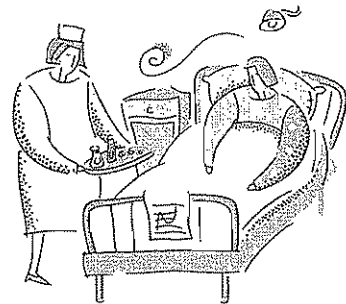


など

②看護師等確保定着事業 【予算額 136,692千円】

県立病院で働く看護師等の確保定着を図るため、助産師及び看護師修学資金制度の活用や新人看護師への技術支援等に取り組みます。

- 将来、一定期間県立病院に勤務することを返還免除の条件に、看護系大学等の在学生に対して修学資金を貸与します。
- 新人看護師の定着対策として、技術支援などの研修等を実施します。



など

周産期医療機能拡充事業

【予算額 118,582千円】
県立病院経営室 224-2350

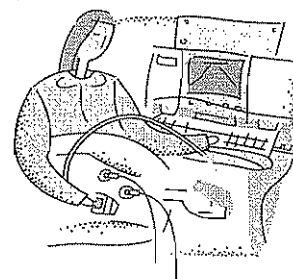
厚生労働省の新生児集中治療管理室（NICU）整備目標では、北勢地域には19～23床が必要とされておりますが、現在総合医療センター3床を含めたNICUは9床しかなく、今後増床することが必要となっております。

このため、総合医療センターでは、北勢地域の周産期医療を充実させるべきとの三重県医療審議会周産期部会の意見書も踏まえ、周産期センター整備工事等を行ないます。

①周産期センター整備工事【予算 118,582千円】

- 総合医療センターの周産期医療機能を拡充するため、平成23年度に実施設計を行うとともに、周産期センター（新生児集中治療管理室（NICU）、回復期治療室（GCU）などを設置）整備工事に着工します。

請負工事費	90,133千円
設計監督費	26,729千円
総係費	1,720千円
計	118,582千円



- 周産期センター整備工事に必要となる債務負担行為を設定します。

（平成24年度の限度額 376,325千円）

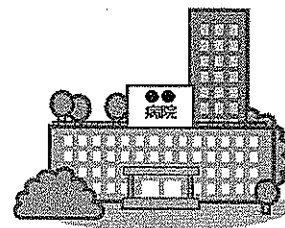
県立病院改革推進事業

【予算額 340,452千円】
県立病院経営室 224-2350

『県立病院改革に関する基本方針』に基づき、総合医療センターの地方独立行政法人化、志摩病院への指定管理者制度導入のために必要な取組みを進めます。

① 地方独立行政法人化関係【予算額 94,978千円】

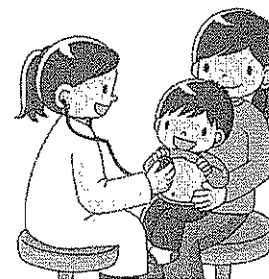
- 地方独立行政法人の制度に合わせた人事給与システム、財務会計システム等を構築します。
- 地方独立行政法人へ引き継ぐ土地・建物等の再評価を行います。



など

② 指定管理者制度導入関係 【予算額 244,521千円】

- 指定管理者と協議のうえ、今後の診療体制を充実させるために必要な医療機器を整備します。
- 指定管理者への管理運営の移行のために必要となる現地事務所設置にかかる費用を負担します。



など

③ 県立病院改革推進事務費 【予算額 953千円】

- 県立病院改革を推進するために必要となる旅費や消耗品費等の事務費を計上しています。



【所管事項説明】

4 医師の充足状況

(1) 医師の定数現在員の状況

(単位:人)

病院名	定数	現在員	過不足	備考(不足診療科等)
総合医療センター	79	68	▲ 11	循環器科、脳神経外科、眼科等
こころの医療センター	20	15	▲ 5	精神科
一志病院	9	6	▲ 3	内科、外科、整形外科
志摩病院	41	20	▲ 21	内科、循環器科、神経内科、脳神経外科、小児科、産婦人科等
合計	149	109	▲ 40	※シニアレジデントを含む

※平成23年5月1日現在数。ただし、臨床研修医17名(総医16名、志摩1名)を除く。

(2) 医師の現在員の推移

(単位:人)

病院名	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度(A)	H23.5.1(B)	増減(B-A)	備考
総合医療センター	68	68	72	69	68	▲ 1	
こころの医療センター	15	15	15	15	15	0	
一志病院	5	5	5	6	6	0	
志摩病院	30	27	24	20	20	0	
合計	118	115	116	110	109	▲ 1	※シニアレジデントを含む

※各年度欄は4月1日付け。ただし、臨床研修医を除く。

(3) 臨床研修医の確保状況

(単位:人)

年度	病院名	総合医療センター		志摩病院		(参考)三重大学	
		募集	現員	募集	現員	募集	現員
H20年度採用		12	9	4	2	26	6
H21年度採用		12	9	4	2	26	14
H22年度採用		10	7	3	0	29	20
H23年度採用		9	9	2	1	30	16

※医師臨床研修マッチング協議会の行うマッチングを経て、採用した研修医数(三重大学はマッチング数)

【所管事項説明】

5 助産師・看護師の確保・定着について

(1) 助産師・看護師の定数現在員の状況

*平成23年5月1日現在

病院名	定数	現在員	育休・休職・派遣等	実人員	過不足	充足率(%)
総合医療センター	361	362	21	341	▲ 20	94.5%
こころの医療センター	141	143	3	140	▲ 1	99.3%
一志病院	26	25	1	24	▲ 2	92.3%
志摩病院	157	158	14	144	▲ 13	91.7%
合計	685	688	39	649	▲ 36	94.7%

※1 上表とは別に、県立病院経営室に正規職員1名を配置

※2 志摩病院の現在員には、志摩市への派遣職員7名を含む。

(2) 助産師・看護師の離職率の推移

	総合医療センター	こころの医療センター	一志病院	志摩病院	合計
平成17年度	10.0%	7.4%	2.6%	6.5%	8.0%
平成18年度	13.9%	4.3%	17.7%	13.1%	11.8%
平成19年度	11.3%	7.1%	16.3%	2.9%	8.2%
平成20年度	11.0%	5.1%	12.2%	10.3%	9.6%
平成21年度	8.3%	5.1%	12.2%	10.3%	8.3%
平成22年度	8.0%	0.0%	4.2%	2.5%	4.8%

(3) 平成22年度退職者の退職理由

主な退職理由	総合医療センター	こころの医療センター	一志病院	志摩病院	合計
結婚・出産・育児	11人	0人	0人	2人	13人
本人・家族の健康問題	3人	0人	0人	1人	4人
転職	8人	0人	0人	0人	8人
定年・勧奨退職	0人	0人	1人	1人	2人
その他(帰省、配偶者の転勤、進学等)	4人	0人	0人	0人	4人
合計	26人	0人	1人	4人	31人

(4) 助産師・看護師の新規採用者数の推移

	総合医療センター	こころの医療センター	一志病院	志摩病院	合計
平成18年度	26人	14人	2人	8人	50人
平成19年度	34人	7人	0人	18人	59人
平成20年度	44人	6人	1人	7人	58人
平成21年度	53人	8人	0人	11人	72人
平成22年度	34人	6人	1人	8人	49人
平成23年度 ※	47人	4人	0人	2人	53人

※再任用職員は除く。

※平成23年度新規採用者数の算出期間は、5月1日付け採用まで。

(5) 助産師・看護師の現在員の推移

病院名	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度(A)	H23.5.1(B)	増減(B-A)	備考
総合医療センター	291	311	333	362	362	0	
こころの医療センター	138	137	139	143	143	0	
一志病院	26	26	24	26	25	▲ 1	
志摩病院	177	167	159	157	158	1	
合計	632	641	655	688	688	0	

※各年度欄は4月1日付け現在員数。

※市町への派遣職員を含み、市町からの受入職員を含まない。

【所管事項説明】

4. 「三重県病院事業平成23年度年度計画及び当面の運営方針（平成23年度）」について

1 「平成23年度年度計画」及び「当面の運営方針（平成23年度）」の位置づけについて 《本冊 第1章（1～2頁）》

(1) 「平成23年度年度計画」の位置づけについて

病院事業庁では、安定的な病院運営を行っていくためには、複数年を見据えた経営計画を策定する必要があるとの認識に立ち、平成22年12月に今後も県立県営が継続されるこころの医療センターと、当面、県立県営で運営されることになる一志病院及び病院事業庁（県立病院経営室）における平成22年度から平成24年度までの中期的なビジョンと戦略及び具体的な行動に向けた取組を『中期経営計画（平成22～24年度）』として取りまとめました。この『中期経営計画（平成22～24年度）』では、各年度の具体的な取組については、各年度の様々な環境の変化等を踏まえ、各年度において年度計画を策定し、実施することとしています。

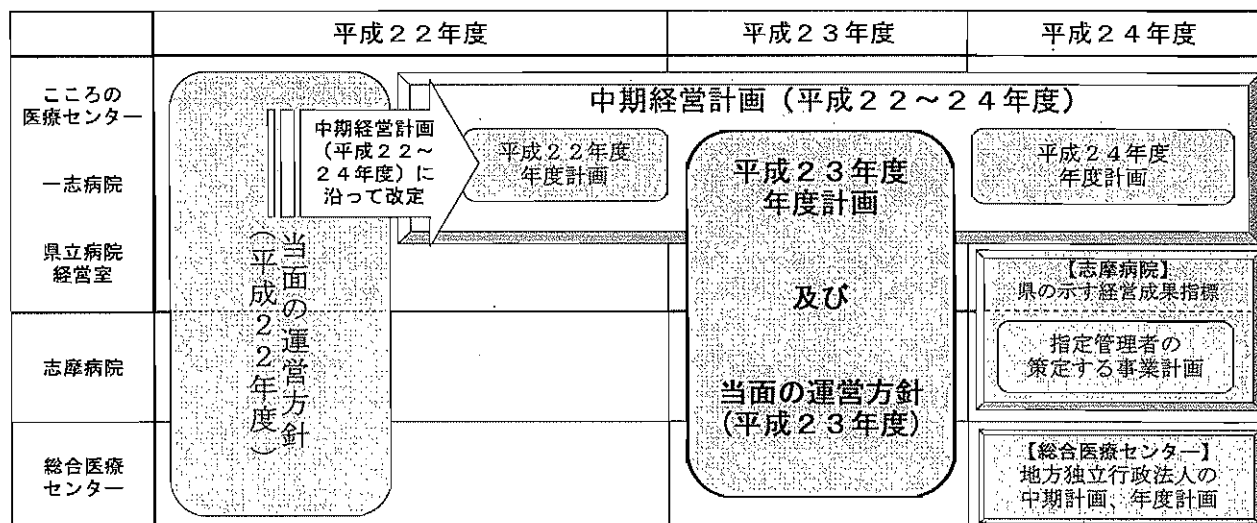
このことから、「平成23年度年度計画」は、『中期経営計画（平成22～24年度）』の中間年度の計画として、平成22年度における取組を総括した上で、当該中期経営計画に掲げた目標の達成に向けて、着実に取組を進めていくことを主眼に策定したものと なっています。

(2) 「当面の運営方針（平成23年度）」の位置づけについて

総合医療センターと志摩病院については、平成24年度から経営形態が変更となることから、『中期経営計画（平成22～24年度）』の対象には含まれていません。

しかしながら、それぞれの病院は地域住民に対して良質な医療を継続的に提供する責務を負っており、また、新たな経営形態へ円滑に移行するために必要な取組も着実に進めていく必要があります。

そのため、平成23年度については、平成22年度における取組を総括した上で、平成23年度において、総合医療センターと志摩病院が重点的に進めていくべき取組等を「当面の運営方針（平成23年度）」として取りまとめ、病院の運営を行っていくこととしました。



【所管事項説明】

2 「平成22年度年度計画」及び「当面の運営方針（平成22年度）」の評価と総括について 《本冊 第2章（3～17頁）》

（1）総合医療センター【当面の運営方針】 《本冊 第2章（3～5頁）》

- ① がん・脳卒中・心筋梗塞などの疾患に対応する高度医療を提供するとともに、救命救急センター、地域周産期母子医療センター、地域がん診療拠点病院などの政策的な役割・機能を担い、平成22年4月には、新指針に基づく地域がん診療連携拠点病院の指定更新も受けました。また、人材の確保・育成についても臨床研修医の育成や看護実習生の受け入れ等に取り組みました。
- ② 病床稼働率の向上を図るとともに、平均在院日数の見直しや看護師の確保等により、平成21年10月に取得した7対1看護体制を維持するなど、診療報酬改定に対応した診療体制を整えたことにより、医業収支を大幅に改善させました。
これらの取組の結果、平成22年度決算では、平成15年度以来、7年ぶりに経常黒字を達成できる見込みです。

（2）こころの医療センター【年度計画】 《本冊 第2章（6～9頁）》

- ① 精神科救急医療に対応するため、救急受入体制の強化を図るとともに、保健所等からの措置鑑定診察要請についても100%対応しました。また、人材の育成・確保を図るため、積極的に臨床研修医を受け入れるとともに、精神保健指定医の養成に向けた環境支援を行った結果、複数名の医師が、当該資格を取得しました。
このほか、精神科医療の中核となる病院づくりを目指し、アルコール依存症治療や認知症治療、精神科早期介入・予防にかかる取組を推進しました。
- ② 入院診療において、急性期医療への対応を充実し、一定の新入院患者数や病床稼働率を確保できたこと、また、外来診療において、アルコールデイケアの開設や多職種によるアウトリーチ活動の実施により、外来患者数、デイケア件数が大幅に伸びたことなどによって、平成22年度決算でも引き続き、経常黒字を達成することができる見込みです。

（3）一志病院【年度計画】 《本冊 第2章（10～12頁）》

- ① 総合的な診療に対応できる常勤の医師（家庭医）を5名確保して様々な健康問題に対応できる医療サービスを提供しました。また、在宅療養支援や救急医療に積極的に取り組んだ結果、訪問看護件数や救急患者数が大幅に増加しました。さらに、地域医療を担う人材の育成を図るため、研修医や看護実習生の受け入れにも積極的に取り組みました。
- ② 家庭医療を核とした地域医療の提供を着実に進めるとともに、地域の関係機関と

【所管事項説明】

の連携強化や在宅療養支援、救急医療への取組を進めた結果、入院、外来収益を増加させることができました。また、材料費や経費等の費用の削減にも積極的に取り組みました。

これらの取組の結果、平成22年度決算では、平成15年度以来、7年ぶりに経常黒字を達成できる見込みです。

(4) 志摩病院【当面の運営方針】 《本冊 第2章(13~15頁)》

- ① 内科系救急医療については、内科系医師の減少に伴い、平成20年度以降、段階的に受入体制を縮小しており、平成22年度に入ってから、3名の内科系医師が異動や退職により減少するなど、さらに厳しい状況となっています。また、整形外科の医師が1名退職したことから、外科系の救急医療についても、夜間の受入体制を一部縮小せざるを得なくなりました。

このような厳しい状況の中、へき地への代診医の派遣要請には、各へき地医療拠点病院と連携して100%対応しました。また、助産師外来及び「おっばい広場」等の助産師活動を充実させるとともに、未来の地域医療の担い手を育成することを目的とした「メディカルスクール」を開催しました。

- ② 診療単価の向上や経費の節減に努めたものの、診療体制の縮小による患者数の減少が著しく、入院、外来収益が大きく減少しており、医業収支は大幅に悪化する見込みです。

(5) 病院事業庁(県立病院経営室)【年度計画】 《本冊 第2章(16~17頁)》

- ① 県立病院がそれぞれの役割及び機能を十分に発揮し、県民に良質で満足度の高い医療を安定的、継続的に提供できるよう、医師及び看護師の確保に取り組みました。

また、各県立病院が行う新型インフルエンザ対策をはじめとする感染症対策や医療安全対策などの支援に取り組みました。

- ② 県立病院改革の円滑な推進を図るとともに、経営の健全化を図るため、資金の確保に取り組みました。

特に県立病院改革については、様々な機会を通じて関係機関等に説明を行うとともに、職員に対しては、20回以上の説明会を開催する一方、個別またはグループ単位での面談も行いました。

【所管事項説明】

3 「平成23年度年度計画」及び「当面の運営方針（平成23年度）」について 《本冊 第3章（18～34頁）》

（1）総合医療センター【当面の運営方針】 《本冊 第3章（18～21頁）》

- ① 引き続き、高度医療を提供するとともに、救命救急センター、地域周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院などの政策的な役割・機能を担っていきます。また、県内医療水準の向上と地域医療の充実に向け、地域の医療機関との一層の連携を図るとともに、周産期センターの整備や地域医療支援病院の指定取得に向けた体制整備を行っていきます。さらに、臨床研修医の育成や認定看護師の養成等の人材育成にも引き続き積極的に関わり、その一環として、三重大学の連携大学院を院内に開設します。
- ② 7対1看護基準の維持、病床稼働率の向上など、医業収益の増収に努めるとともに、材料費の低減など、適正なコスト管理を推進し、経営の健全化に努めていきます。また、平成24年度からの特定地方独立行政法人化に向けて、法人の運営組織の検討、中期計画の策定、人事給与及び財務システムの開発など、準備を進めていきます。

（2）こころの医療センター【年度計画】 《本冊 第3章（22～25頁）》

- ① 引き続き、精神科救急・急性期医療の充実を図るとともに、入院患者の社会復帰支援やニーズに応じた訪問看護、デイケア体制など、地域生活支援体制の充実を努めていきます。また、アルコール依存症治療、認知症治療及び精神科早期介入・予防にかかる取組についても、引き続き充実を図っていきます。
- ② 入院収益については、精神科救急・急性期医療に重点を置き、患者数に依存する収益構造から医療の質に基づく収益構造に転換を図るとともに、外来収益については、アウトリーチの拡充やデイケアの充実など、医療環境の変化に応じた取組によって増収を図り、経営の健全化に努めていきます。また、県立病院改革については、本院が果たせる役割を果たすとともに、職員に対する迅速な情報提供に努めていきます。

（3）一志病院【年度計画】 《本冊 第3章（26～29頁）》

- ① 過疎化、高齢化が進む地域において必要とされる総合的な診療（家庭医療）を提供するため、幅広い臨床能力を有する常勤の家庭医を確保し、様々な健康問題に対応できる医療サービスを提供していきます。また、在宅療養に対するニーズに応えるため、地域の福祉関係機関と連携し、訪問診療や訪問看護、訪問リハビリテーション等の在宅療養支援に取り組んでいきます。さらに、引き続き、三重大学と連携して、県内における家庭医育成の中心的な役割を担っていきます。

【所管事項説明】

- ② 入院、外来患者数の増加などにより収益の増加を図るとともに、材料費や経費等の費用の縮減を図り、経営の健全化を目指していきます。また、上位の施設基準への転換や新たな施設基準の取得にも取り組み、さらなる増収に努めます。なお、本院は、医療総合情報システムがまだ導入されていないことから、その導入に向けた調査等を行うとともに、運用方法等について、院内での合意形成を図っていきます。

県立病院改革については、今後も地域の医療ニーズに対応した医療ができるよう、今後の円滑な病院運営に向けての検討を深めていきます。

(4) 志摩病院【当面の運営方針】 《本冊 第3章 (30～32頁)》

- ① 志摩地域の救急医療を守るため、県内外を問わず広範囲な医師確保対策に取り組むとともに、地域の医師会や関係する医療機関、消防を始めとする行政機関などにより一層の連携を図りながら、救急医療体制の維持に努めていきます。また、引き続き、へき地医療拠点病院、災害拠点病院としての役割・機能を担っていきます。

さらに、伊勢志摩サブ医療圏で唯一の精神科病床を有する病院として積極的に患者を受け入れるとともに、志摩地域で唯一産婦人科を有する病院として、産婦人科医師の確保に努めつつ、「助産師外来」をはじめとした志摩地域の妊産婦が安心できる身近なサポートを展開していきます。

- ② 医師の減少に伴う診療体制の縮小により、入院、外来収益が激減していることから、まずは不足している医師の確保に最大限取り組むとともに、収入面では、DPC制度の効率的な活用による収入の確保、支出面では、経費の縮減による支出の削減に取り組み、経営の健全化に努めていきます。また、平成24年4月から円滑に指定管理者制度が導入できるよう、院内外の調整や体制づくりに努めるとともに、一刻も早く診療体制を回復させるため、指定管理者指定団体に対して、平成23年度中の医師の前倒し派遣を要請していきます。

(5) 病院事業庁（県立病院経営室）【年度計画】 《本冊 第3章 (33～34頁)》

- ① 県立病院がそれぞれの役割及び機能を十分に発揮し、県民に良質で満足度の高い医療を安定的・継続的に提供できるよう、医師、看護師の確保等及び各病院の経営改善に向けた取組を進めていきます。
- ② 病院事業会計の内部留保資金の枯渇も懸念されることから、まずは各県立病院の経営改善による資金確保に努めるとともに、一般会計からの長期借入金や出資の受入等による資金確保についても検討します。また、県立病院改革の推進にあたっては、特に総合医療センター及び志摩病院の平成24年4月からの経営形態変更について、地域住民、関係機関及び職員に対して十分な説明を行い、理解と協力を得た上で、円滑な移行が行えるように引き続き努めていきます。

- 「平成23年度年度計画及び当面の運営方針(平成23年度)」
第2章の主な取組目標の達成状況(H23.5.1現在)

第1節 総合医療センター

役割・機能に関する主な取組目標の達成状況

項 目		H21実績	H22目標	H22見込	H22実績
①がん診療拠点病院に関する こと	がん手術件数	件 531	500	500	494
	化学療法患者数	人 4,585	4,800	4,800	4,937
②救急医療に関 すること	救命救急センター入 院患者数	人 4,705	5,300	4,500	4,503
	救急患者受入数	人 14,812	14,000	14,000	14,374
③脳卒中・心筋 梗塞に関する こと	PCI+冠動脈バイパス 手術数	件 161	180	200	217
	t-PA+脳血管手術数	件 133	180	120	130
④周産期医療に 関すること	NICU利用延べ患者数	人 867	830	750	771
⑤地域医療連携 の推進に関す ること	紹介患者数	人 5,731	6,000	5,800	5,747
	地域連携クリニカル パス件数	件 159	160	160	160
	退院調整患者数	人 754	735	700	734
	医療機関、県民を対 象とした研究会、後 援会の実施回数	回 12	12	12	12
⑥人材育成に関 すること	初期及び後期研修医 数	人 29	25	29	30
	新規資格取得者数	人 8	6	6	7
	看護実習生受入数	人 2,807	4,000	3,600	4,223

収支改善に関する主な取組目標の達成状況

項 目		H21実績	H22目標	H22見込	H22実績
①病床稼働率の 向上に関する こと	病床稼働率	% (84.6) 63.0	(86.7) 64.6	(88.0) 65.5	(88.8) 66.1
	クリニカルパス利用 率	% 30.3	35.0	28.0	26.7
②看護師の確 保・定着に関 すること	看護師定着率	% 91.7	90.0	92.5	91.6
③財務実績の改 善に関する こと	経常収支比率	% 96.1	96.3	100.2	調整中
	職員給与費対医業収 益率	% 59.2	57.2	55.1	調整中
	医業収支比率	% 85.8	90.4	94.4	調整中

【所管事項説明】

第2節 こころの医療センター

役割・機能に関する主な取組目標の達成状況

項 目		H21実績	H22目標	H22見込	H22実績	
(1) 精神科医療の中核病院としての取組	①病院機能の再編・見直しに関すること	病院機能の見直し・再編検討	—	検討開始	検討開始	検討開始
	②精神科救急・急性期医療の推進に関すること	精神科救急患者対応新規入院患者数の寛解率	人 209 % 61	220 63	228 56	228.0 57
		措置鑑定対応件数	件 52	30	21	21
		③三重県全体の医療水準の向上に寄与する研修機会の提供に関すること	臨床研修医受入数	人 6	8	7
	看護実習生受入数		人 2,249	2,350	1,920	2,130
	コメディカル実習生受入数		人 409	420	312	381
④人材確保・育成に関すること	人材育成研修開催数	回 2	2	2	2	
(2) 地域生活支援体制の充実に向けた取組	①地域支援・社会復帰推進の体制整備に関すること	長期入院患者（5年超）退院数	件 3	5	5	6
	②地域精神保健福祉の連携体制の強化に関すること	地域精神保健医療体制検討会設置	—	設立検討	次年度課題	次年度課題
	③精神疾患・障がいにかかる普及啓発に関すること	こころしっとこセミナー件数	件 25	25	25	28
(3) 高度・先進医療の取組	①アルコール依存症治療の取組に関すること	アルコール病棟入院患者数（1日平均）	人 32.7	32.0	29.6	33.3
	②認知症治療の取組に関すること	認知症治療病棟入院患者数（1日平均）	人 37.6	40.0	42.1	43.9
	③精神科早期介入・予防にかかる取組に関すること	早期介入対応件数	件 14	25	48	59

収支改善に関する主な取組目標の達成状況

項 目		H21実績	H22目標	H22見込	H22実績	
(1) 経営の健全化にかかる取組	①健全経営を踏まえた病院機能の再編・見直しに関すること	経常収支比率	% 109.1	107.8	108.3	調整中
		職員給与費対医業収益比率	% 82.0	84.0	81.8	調整中
		医業収支比率	% 79.9	78.5	80.8	調整中
	②外来収益に関すること	外来患者数（1日平均）	人 233.7	236.0	242.8	248.0
		デイケア延べ件数	件 12,891	11,500	13,300	13,298
	③入院収益に関すること	病床稼働率	% 83.8	83.8	82.6	82.9
		紹介率	% 58.5	58.0	55.7	55.1
		医療機関訪問件数	件 300	300	190	175
		急性期病棟のまるめ適用率	% 75	70	69	71
新入院患者数		人 976	950	960	945	
(2) 業務改善に向けた取組	①患者や家族の視点に立った医療の提供に関すること	職員倫理研修の開催	回 —	1	1	1
	②医療安全対策に関すること	医療安全研修参加率	% 45.0	60.0	68.0	70.0
	③患者満足度の向上に向けた取組に関すること	運営モニター開催	回 1	1	2	2

第3節 一志病院

役割・機能に関する主な取組目標の達成状況

項 目		H21実績	H22目標	H22見込	H22実績		
(1) 家庭医療を核とした地域医療モデルの確立に向けた取組	①様々な健康問題に対応できる医療サービス提供の取組に関する事	1ヶ月当り常勤家庭医数	人	5	5	5	
		社協等との連絡会議等参加回数	回	3	4	7	5
		診療所等からの紹介入院患者数	人	178	155	150	150
	②在宅療養を支援する医療サービス提供の取組に関する事	訪問診療等延患者数	人	436	700	850	988
	③一次救急医療の取組に関する事	一次救急患者（救急車除く）受入件数	件	631	780	800	765
	④予防医療の取組に関する事	健康教室・糖尿病教室等参加人数	人	533	535	505	480
		予防医療（健康診断等）受診件数	件	1,673	1,690	1,700	1,720
(2) 地域医療を担う人材育成の取組	①家庭医育成の取組に関する事	1ヶ月当り研修医受入人数	人	2.25	2.25	2.25	2.25
	②看護師等育成支援の取組に関する事	看護実習等受入数	人	27	29	32	32
	③医療従事者の能力向上に向けた取組に関する事	院外研修参加者割合	%	66.7	70.0	70.0	59.5

収支改善に関する主な取組目標の達成状況

項 目		H21実績	H22目標	H22見込	H22実績		
(1) 経営の健全化の取組	①収支改善の取組に関する事	経常収支比率	%	98.7	106.8	104.2	調整中
		職員給与費対医業収益比率	%	96.9	87.5	84.4	調整中
		一般病床稼働率	%	68.8	76.9	74.4	75.8
		内科（家庭医療）外来患者数（一日平均）	人	80	93	97	98
		医業収支比率	%	59.4	67.3	70.9	調整中
	②病院施設基準の維持、向上に向けた取組に関する事	新基準取得、上位基準転換件数	件	0	検討開始	1	1
	平均在院日数	日	21	24以内	21	22	
(2) 業務改善の取組	②患者満足度向上に向けた取組に関する事	患者満足度	%	78.2	80.0	80.0	80.6

第4節 志摩病院

役割・機能に関する主な取組目標の達成状況

項 目			H21実績	H22目標	H22見込	H22実績
①救急医療の提供に関すること	救急患者数	人	5,410	4,800	4,000	3,753
	上記のうち入院患者数	人	1,347	1,000	840	770
②へき地医療の推進に関すること	代診医派遣応需率	%	100	100	100	100
③災害における医療の提供に関すること	災害訓練実施回数	回	2	2	2	2
④地域連携の推進に関すること	紹介患者数	人	5,102	4,200	4,600	4,654
	逆紹介患者数	人	4,281	3,600	3,700	3,829
⑤研修医等の育成に関すること	臨床研修医数	人	5	3	2	2
⑥精神科医療の充実に関すること	病床稼働率（精神）	%	95.9	97.0	94.1	93.7
	こころの外來患者数（1日あたり）	人	33.9	33.0	33.2	33.6
⑦地域のニーズ（産婦人科）に応える取組に関すること	助産師外來指導・相談件数（1ヶ月平均）	件	40.4	40.0	73.0	70.0
	パパ・ママ教室等の開催数	回	15	12	15	16

収支改善に関する主な取組目標の達成状況

項 目			H21実績	H22目標	H22見込	H22実績
①稼働病床率の向上に関すること	病床稼働率（一般）	%	(88.3) 60.0	(82.4) 56.0	(89.4) 43.4	(88.0) 42.7
	病床稼働率（精神）	%	95.9	97.0	94.1	93.7
②経営の健全化に関すること	経常収支比率	%	83.0	79.4	74.9	調整中
	職員給与費対医業収益比率	%	78.8	85.7	90.3	調整中
	医業収支比率	%	72.2	67.6	62.8	調整中

【所管事項説明】

第5節 病院事業庁(県立病院経営室)

役割・機能に関する主な取組目標の達成状況

項 目			H21実績	H22目標	H22見込	H22実績
(1)医師・看護師確保に向けた取組	常勤医師充足率 (3月31日現在)	%	77.2	100.0	74.7	75.2
	看護師充足率 (3月31日現在)	%	94.0	100.0	96.3	96.2

収支改善に関する主な取組目標の達成状況

項 目			H21実績	H22目標	H22見込	H22実績
①経営改善に向けた取組に関する事	情報発信回数(1ヶ月平均)	回	0.4	2.0	1.5	2.1
	経常収支比率	%	106.9	107.6	107.4	調整中
②県立病院改革に関する事	県立病院改革に伴う職員説明会の開催回数	回	—	20	22	24